

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	川岸支所運営事務			コード	161207	
2 担当部課	部等	総務部	課等	川岸支所	作成者	両角 太郎
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて			
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	市民総参加のまちづくり	
		予算科目	川岸支所運営事務費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	市役所支所設置条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要 （簡潔に）	川岸地区における市役所の出張窓口	
目的	対象者	川岸地区市民等
	意図	本庁の窓口として、親切・丁寧な対応で、正確かつ迅速に事務処理を行う

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	29年度指定管理料 円
施設における 通常業務	・戸籍及び住民基本台帳に関する届出の受理及び証明書交付 ・印鑑の登録及び証明書交付 ・埋、火葬許可 ・市税等の収納及び証明書交付 ・国民健康保険加入、離脱受付、保険証 交付 ・交通災害共済加入受付 ・介護保険届出受付、保険料収納 ・その他文書、物品預 かり、本庁への発送
事業の実施内 容	(29年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 有料利用内訳・市税等 1,325件 22,412,964円 ・使用料及び手数料 2,938件 2,513,709円 ・諸収入等その他 147件 1,081,120円 ・特別会計等 1,859件 9,299,950円 ・介護保険料 84件 565,390円 ・交通災害共済 48件 41,200円 無料利用内訳・住民異動 37件 ・住居表示等変更証明 1件 ・無料証明 0件 ・軽自動車納税証明 60件
前年度の課題 への対応	担当各課との連携を密に取り合うことで、日ごろから連携をスムーズに行い、窓口での対応 を迅速かつ丁寧に行うよう心がけた。

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象(ただし年間開設日数は入力) *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	240	243	244	244
1日の開設時間(時間)	9	9	9	9
年間利用可能時間(時間)	2,160	2,187	2,196	2,196
年間利用実績(時間)	2,160	2,187	2,196	
② 年間利用者数(人)	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数(件)	6,993	7,186	6,499	7,186
有料利用件数	6,891	7,059	6,401	7,059
無料利用件数	102	127	98	127
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	29.1	29.6	26.6	29.5
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	1,738,503	2,411,902	3,704,426	1,849,000
経常経費	1,738,503	2,411,902	3,704,426	1,849,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	9,738,503	10,411,902	11,704,426	9,849,000
前年度比		106.9%	112.4%	84.1%
財源内訳				
一般財源	9,738,423	10,411,802	11,704,376	9,849,000
特定財源	80	100	50	
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	0	0	0	
⑤ 年間減免措置額				
⑥ 受益者負担割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	1,393	1,449	1,801	
前年度比		104.0%	124.3%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	標準
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。			0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 90.1%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 0.0%		0

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 市役所の出張窓口であるため、住民からの様々な質問や要望に迅速かつ丁寧に応じる必要がある。
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 各課との連携を密に行い、常に最新の状態で対応を心がける。
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	
13 大規模修繕の予定			
内容	予定事業費	円	予定時期

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	161207	川岸支所運営事務
-----	--------	----------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0

施設の運営コスト計算シート

事業名	161207	川岸支所運営事務
-----	--------	----------

1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
共済費	466,262		466,262	
臨時職員賃金	3,017,969		3,017,969	
消耗品費	126,818		126,818	
通信運搬費	93,377		93,377	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	3,704,426	0	3,704,426	

2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	1.00		1.00人
合計	8,000,000	0	8,000,000円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
私用電話料	50		50	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	50	0	50	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	11,704,376	0	11,704,376